



文献検索の基礎

- 文献収集の方法 -

学術論文の 基本的な構成

論文タイトル(Title)

著者情報(Authors)

抄録,要旨 (Abstract, Summary)

本文
(図表など含む)

参考文献(References)

抄録, 要旨

論文の要約、要点をまとめたもの

ここを読めば、この論文の
だいたいの内容がわかる

参考文献

著者がこの論文を書く際、論文の
中で引用した論文や参考にした
論文のリスト

=関連分野の論文リスト

上下のこのあたりに、この論文が
掲載された資料の情報が掲載される

※雑誌論文の場合、雑誌名、巻号など

文献収集の基本的な手順

①文献の**情報**を知る

自分のテーマにあった文献が世の中に存在するか、
存在するなら、それはなにに掲載されているのか

「書誌情報」
という

- 使用ツール: 文献データベース, Webなど
→ 文献単位で検索する

②文献の**所在**を知る

ほしい文献は本学で入手できるか、どこで入手できるか

- 使用ツール:
電子ジャーナルリスト, OPAC, Webなど
資料単位で検索する

文献データベースと電子ジャーナル

	文献データベース (例: SciFinder, Scopus, JDreamIII)	電子ジャーナル (例: ScienceDirect, Wiley InterScience)
使用目的	どんな文献が世の中に存在するか、キーワード等から検索する	ある出版社が発行した雑誌の目次を見たり、掲載論文の情報を検索したり、論文本文を読む
収録対象	分野別のことが多い	出版社別
収録情報	文献情報 論文全文へのリンク機能	文献情報 論文全文
特徴	該当分野の文献を網羅的に検索できる	論文の全文を対象にした検索ができる

自分の研究テーマに関する論文を探す場合は、まず文献データベースを検索しよう

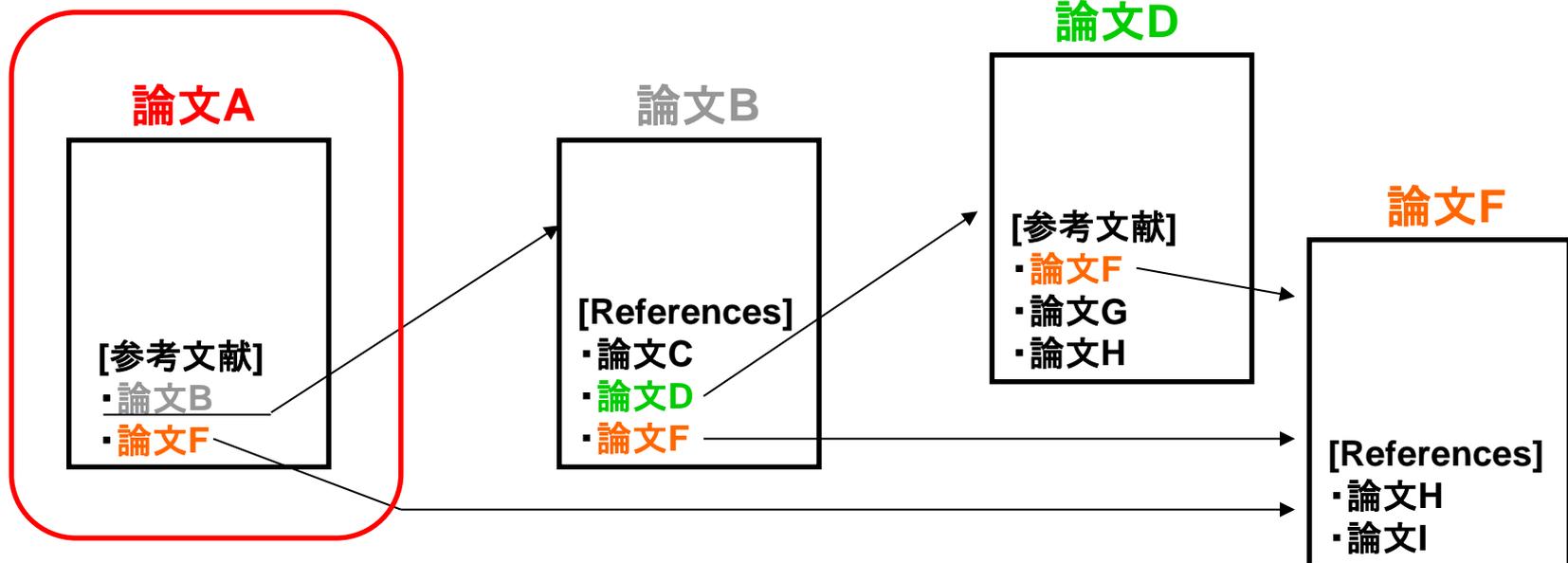
文献情報の収集 ①

引用文献・参考文献から収集する

1つの論文を基にする

論文の末尾にある「参考文献」「References」に書かれている論文をたどる

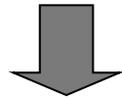
先行研究の流れをたどることができる



文献情報の収集 ②

分野やテーマなどから網羅的に収集する

文献データベースを利用する



JDreamIII, SciFinder,
Scopus, CiNii Articles,
PubMed, MathSciNet,
雑誌記事索引 etc...

文献データベースの選び方

- a. 分野は適切か
- b. どれだけの年代がカバーされているか

技大で利用できるだけでも
こんなにある！

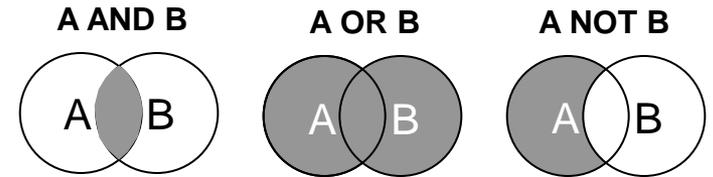
検索の際のポイント

文献DBは基本的には
単語 (Word) で検索

- a. 検索キーワードは適切か (広く浅く → 狭く深く)
- b. ヒットした検索結果は適切か (再検索の繰り返し)

データベース検索の基本テクニック

①論理演算子 (AND, OR, NOT)



②前方一致検索

語尾変化する単語で検索するときや途中までしかわからない語で検索したい場合は、変化しない部分やわかっている部分まで入力してそのうしろにワイルドカードをつける。

一般的には * が使われることが多いがデータベースによって異なるので注意 (JDreamⅢの場合は ? を使用する)

例) polym* → polymer, polymerization, polymeric などがヒット

※規則的な単数、複数の変化は大体のDBでは自動検索してくれる

③フレーズ検索

polymer blend と入力すると、一般的には polymer AND blend と検索する。

“polymer blend” とくくって入力すると、1つのフレーズとして検索することが多い。

※このあたりの規則はデータベースによって異なるので、注意が必要

Webと文献データベース

Web (Google Scholarなど)

- ・てっとりばやい 
- ・最新情報もみつかる
(速報性が高い)
- ・最近は論文などの全文も
入手できる
- ・網羅性がない 
- ・情報の出所、信憑性に
注意が必要(玉石混交)

文献データベース

- ・情報の信頼性・ 
品質が高い
- ・網羅的に検索できる
- ・付加価値が高い
(検索語付与など多機能)
- ・検索方法の学習が 
必要
- ・学内からしか利用できな
いことが多い

必要に応じて、うまく使い分けよう